

Goodbye Perio Project



グッペリ活動に参加すると、 自分がどんどん 成長する！

大嶋 薫さん / 埼玉県

8年前歯周病に関するセミナーに参加し、「フロスの大切さを伝えなきゃ」と思った大嶋 薫さん。
最初のうちは真剣に話を聞いてもらえないこともあったそうですが、
Goodbye Perioプロジェクトのイベントを何度も経験して
患者さんや周りの人へスムーズにフロスの提案ができるようになりました！

仲のいい友達ほど 伝えるのは難しい！

先日、妊娠している友達とご飯に行っただけ、ミフロスを渡したんです。「今のうちからケアすれば、子どもと口づけしても細菌が移るリスクを減らせるよ」。そう言うたらすごく興味を持って、いろいろと質問してくれました。こんなに積極的に聞いてくれるんだ！って、こっちがびっくりするくらい。身近な人にフロスの大切さをわかってもらえて、かなりうれしかったです。
でもこんなふうに喜んで聞いてもらえるようになったのは、ここ数年のことなんです。以前は話しても流されてしまうことがほとんどで……。特に普段からワイワイやっている仲のいい友達は難しかったです。「一緒にご飯を食べているときにフロスを見せても「ふーん」とか「へー」で終わり(笑)。具体的な話をしようとする」と「使い方？ 知らない、知らない」で断られてしまったこともあります。歯周病のことを伝えなきゃって思う想いだけはあったので、すぐくもどかしかったです。

「この人はどんな人？」 相手を冷静に見られるように

そんなとき、グッペリのイベントに何度か参加して、他のメンバーさんがどんなやりとりをしているか聞けたんです。みなさんちょっとした会話の中から相手のお口の状態や生活環境を探って、その人に合わせた話をしている。そして相手の方は満足して帰って行かれる。そのやりとりを見て、自分に足りないものがわかりました。私は患者さんにも友達にも同じような内容をひたすら喋っていただけ。相手の置かれた状況を考えられていないから、全然響いていなかったんだって気づいたんです。
今は必ず「この人はどんな人だろう？」「どう伝えたらいいだろう？」と考えるようにしています。話の中でチャット「介護をしていて」と出てきたら「体調崩していませんか？」「免疫が下がっているときは……」と伝えたり、妊婦さんには歯周病と子どもが関わる話をしたり。相手のことを考えて話すようにしたら、喜んで話を聞いてもら

えるようになりました。
医院の中だけでやっていたら、私の伝え方もここまで変わらなかったと思います。グッペリのイベントは周りの歯科衛生士さんから伝え方を勉強でき、そして学んだことをすぐに実践できる。すごく成長できる歯科衛生士として本領を発揮できる場所なんです。この先仕事やプライベートで環境が変わっても、グッペリの活動は参加したい。そうして歯科衛生士として進み続けていきたいです。

